
ヘビースモーカー

三毛猫

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ヘビースモーカー

【Nコード】

N3466C

【作者名】

三毛猫

【あらすじ】

ヘビースモーカーの彼が禁煙を始めた理由は——？

彼の香りは愛用のタバコの匂い。
でも最近その匂いがしない。

「最近、煙草吸わないね。どうしたの？」

私の部屋でも平気ですばすば吸っていたのに、最近はめっきり吸わない。

彼が残す残り香も何も無い。

「健康意識」

にやりと彼が笑った。

ポケットの中に財布と煙草を押し込んでいたのに、今は煙草の代わりと言わんばかりにケータイが押し込まれている。

そして、煙草の代わりにケータイを開いてメール。

「今更どの口が。ヘビースモーカーさん？」

皮肉を込めて言ってやると、彼は苦笑いした。

けれどそれ以上は何も言わなかった。

それから幾月経っただろうか。

相変わらず、私の部屋でケータイを弄っている彼。

煙草も吸わない。

禁煙が達成されているのだと思う。

メールに夢中で私を見ようとしてもしない彼に聞いてみる。

「誰とメールしてるの？」

そういえば一度も聞いたことがなかった。

彼に興味が無かったと言うよりも、メール相手に予想がつくからだ。

「元カノ」

即答して、こちらをやはり見もしない。

「今カノいるんですけど」

どうして私はこんなに皮肉っぽくしか言えないんだろう。

たまに思う。

彼は私の何が良くて付き合っているのか。

ただのクラスメイトだったと思うのに。

他にも可愛い子なんてそこら中にいる。

それこそ、元カノさんの方が可愛いと思うのに。

「知ってるけど？それが？」

唯我独尊。

この男は私を何だと思っているのだろうか。

こちらを見もしないで。

元カノとのメールに夢中。

最低だと思う。

でも別れを切り出さないのは彼の優しさを知っているから。
それが別れない理由。

―― 煙草は自分以外にも被害があるんだって。

―― ふうん？

―― 俺、禁煙するから。

―― なんで？

―― お前に害があるなら吸わない。

禁煙している間は付き合っていける。
私はそう信じてる。

（後書き）

久しぶりに書かせていただきました。ネコです（〃＾・　・＾〃）
感想、評価、批判などございましたら遠慮なく送ってくださいませ。
努力します！！（〃＾＜ω＞＾〃）

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3466c/>

ヘビースモーカー

2010年10月11日16時26分発行